



2020年3月期 第2四半期決算説明会

【抜粋版】

2019年11月6日

積水化成品工業株式会社
(東証第1部 証券コード：4228)



本日のご説明内容

1 2019年度 上期決算概要

2 2019年度 下期計画概要

3 2019年度 重点施策



本日のご説明内容

1 2019年度 上期決算概要

2 2019年度 下期計画概要

3 2019年度 重点施策

2019年度 上期決算概要

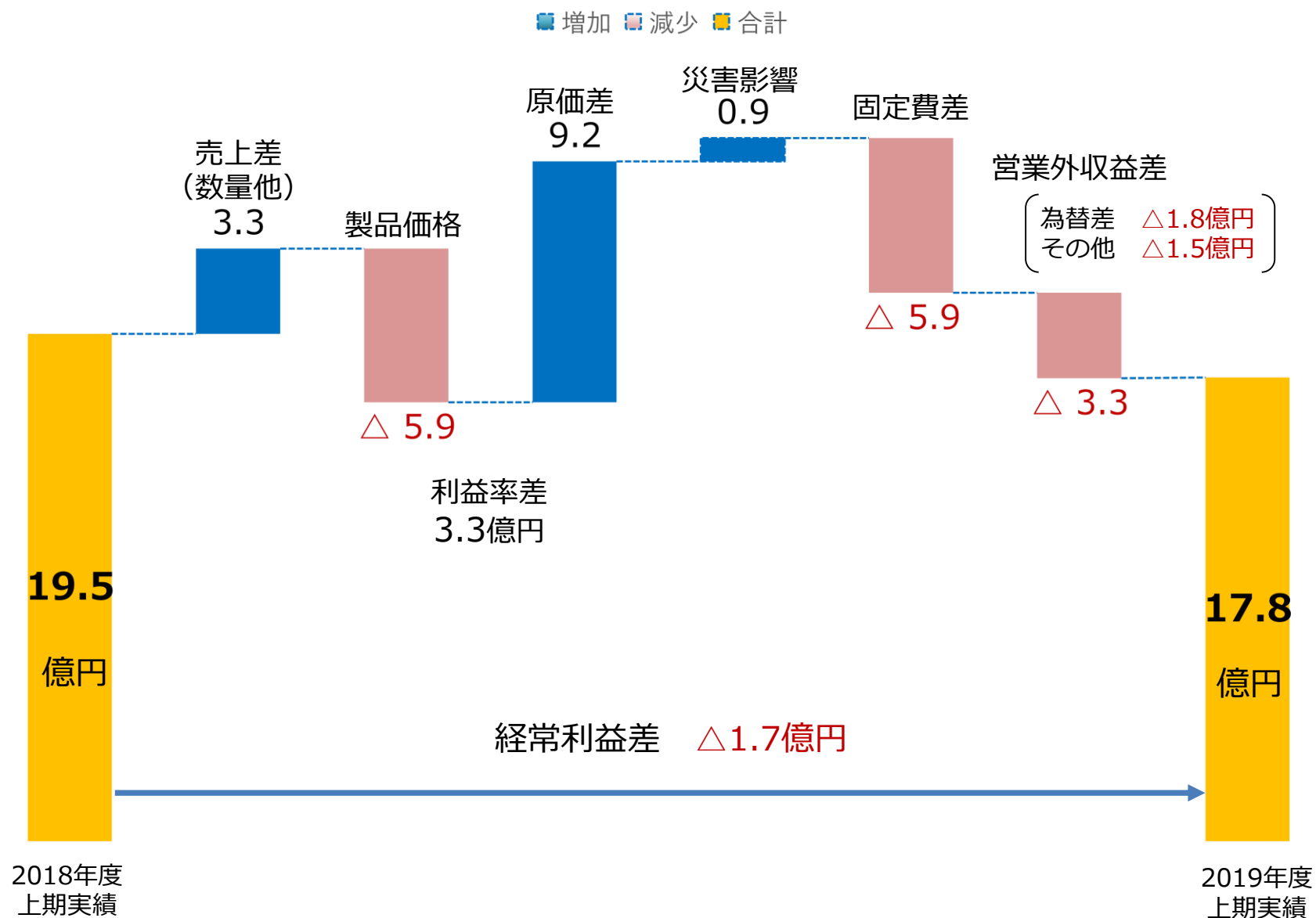
(単位：億円)	2018年度 上期実績 (A)	2019年度 上期計画 (B)	2019年度 上期実績 (C)	前期対比		計画対比	
				(C)-(A)	増減率	(C)-(B)	増減率
売上高	545.7	703.0	699.6	153.9	128%	△ 3.4	100%
(国外売上高) (対売上高比率)	100.3 18.4%	252.2 35.9%	268.3 38.4%	168.0	267%	16.1	106%
営業利益 (営業利益率)	19.2 3.5%	16.0 2.3%	20.6 2.9%	1.4	107%	4.6	129%
経常利益	19.5	16.0	17.8	△ 1.7	91%	1.8	111%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	13.1	11.0	11.9	△ 1.2	91%	0.9	108%

●前年比 増収、営業利益 増益。 計画比 増益

- ・売上面：Proseatグループの取り込みにより増収
- ・利益面：営業利益増益、為替等の影響で経常利益、四半期純利益は減益
生活分野は、前年から回復
工業分野は、減価償却費増もあり減益

* 前期に買収したProseatグループの2019年1月から6月までの業績を含む

2019年度上期經常利益増減要因（対前年比）



(単位：億円)	2018年度 上期実績 (A)	2019年度 上期計画 (B)	2019年度 実績 (C)	前期対比		計画対比	
				(C)-(A)	増減率	(C)-(B)	増減率
売上高	234.8	406.0	409.7	174.9	175%	3.7	101%
営業利益 (営業利益率)	11.5 4.9%	8.2 2.0%	10.6 2.6%	△ 0.9	92%	2.4	129%
経常利益	11.0	6.0	8.7	△ 2.4	79%	2.7	144%

●売上は伸長するも、減価償却費の増加により減益

- ・家電・IT分野
「ピオセラン」等を用いた液晶パネルなど搬送資材用途において、北東アジアで伸長
「テクポリマー」は在庫調整の影響が継続し低調
- ・自動車分野
「ピオセラン」等を用いた部材用途においてグローバルに採用部位が拡大
- ・医療健康分野
「エラストイル」が伸長
「テクノゲル」が貿易摩擦の影響を受け低調
- ・開発強化のための設備投資により、減価償却費増加

(単位：億円)	2018年度	2019年度	2019年度	前期対比		計画対比	
	上期実績 (A)	上期計画 (B)	実績 (C)	(C)-(A)	増減率	(C)-(B)	増減率
売上高	310.9	297.0	289.8	△ 21.1	93%	△ 7.2	98%
営業利益 (営業利益率)	12.6 4.1%	16.4 5.5%	15.9 5.5%	3.3	126%	△ 0.5	97%
経常利益	12.1	16.2	15.6	3.5	129%	△ 0.6	96%

● **売上は、原燃料価格ダウンによる価格対応、低採算商品の見直しにより減収。利益面では前年の価格転嫁遅れ解消と徹底したコスト削減により利益率は復調**

- ・ 「**エスレンシート**」は、売上金額は低調、数量面は前年並み
- ・ 「**エスレンビーズ**」は、売上金額・数量面とも前年並み
- ・ 食品容器関連は、汎用容器向けが堅調
- ・ 建材・土木関連は、盛土用途向けが堅調も、全体では前年並み
- ・ 農産関連は、堅調に推移も、水産関連は、需要低迷が継続
- ・ 生産性改善と省エネに取り組み、原価低減



本日のご説明内容

1

2019年度 上期決算概要

2

2019年度 下期計画概要

3

2019年度 重点施策

(単位：億円)	2019年度	2019年度			2018年度	2019年度		
	上期実績 (A)	下期計画 (B)	上期対比 (B)-(A) 増減率			年間実績 (C)	年間計画 (D)	前期対比 (D)-(C) 増減率
売上高	700	750	51	107%	1,126	1,450	324	129%
(国外売上高) (対売上高比率)	268 38.3%	267 35.5%	△ 2	99%	204 18.4%	535 36.9%	331	262%
営業利益 (営業利益率)	21 2.9%	29 3.8%	8	139%	48 4.3%	49 3.4%	1	103%
経常利益	18	29	11	159%	48	48	0	100%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12	20	8	169%	31	32	1	103%

● 期初計画の達成を見込む

- ・ 上期開発テーマの刈り取りを中心に売上拡大
「テクポリマー」「ピオセラン」「機能性食品容器」の拡大
- ・ 生産部門、管理部門における徹底したコスト削減により、コスト増を抑制する

(単位：億円)	2019年度	2019年度			2018年度	2019年度		
	上期実績 (A)	下期計画 (B)	上期対比			年間実績 (C)	年間計画 (D)	前期対比
			(B)-(A)	増減率			(D)-(C)	増減率
売上高	410	430	21	105%	477	840	363	176%
営業利益 (営業利益率)	11 2.6%	18 4.1%	7	165%	26 5.4%	28 3.4%	2	109%
経常利益	9	15	7	177%	25	24	△ 1	98%

● 「ピオセラン」の確実な受注取り込み。「テクポリマー」の復調。

利益面では、I Dテーマ商材を中心に高利益率製品が立ち上がり貢献

- ・ 家電・I T分野
「ピオセラン」等を用いた搬送資材用途において北東アジアでの続伸
「テクポリマー」は、光学用途で復調
- ・ 自動車分野
「ピオセラン」を用いた部材用途において国内外で採用部位の拡大
- ・ 医療・健康分野
「エラストイル」の拡大と「テクポリマー」の復調
- ・ 既存製品の顧客拡大と新製品の立上げと早期刈取りの実施
- ・ 生産性改善によるコスト削減

(単位：億円)	2019年度 上期実績 (A)	2019年度			2018年度 年間実績 (C)	2019年度		
		下期計画 (B)	上期対比			年間計画 (D)	前期対比	
		(B)	(B)-(A)	増減率		(D)	(D)-(C)	増減率
売上高	290	320	30	110%	649	610	△ 39	94%
営業利益 (営業利益率)	16 5.5%	20 6.3%	4	126%	35 5.5%	36 5.9%	1	102%
経常利益	16	20	4	127%	35	36	1	102%

●機能性シートが需要期に入り復調を見込む、低採算商材の見直しは継続実施

- ・ ビーズ、シート既存顧客へのインスタシェアアップ
- ・ 機能性食品容器の拡大（レンジアップ、冷凍対応容器）
- ・ 農産・水産関連は国内での確実な取込み
- ・ 省エネ・生産性向上活動及び徹底したコストダウン

(単位：億円)

	2018年度			2019年度			前期 対比
	上期実績	下期実績	年間合計	上期実績	下期計画	年間計画	
設備投資額	46	28	74	30	33	63	△ 11
減価償却費	21	24	45	29	32	61	16

● 設備投資は内容を精査して実施

【上期】 主な完工設備

- ・ 成形機増設
- ・ 設備更新・補修

【下期】 主な完工設備

- ・ 成形機増設
- ・ 設備更新・補修
- ・ 情報システム投資

(単位：円/株)

2018年度			2019年度		
中間	期末	年間	中間	期末(予)	年間(予)
13.0	17.0	30.0	13.0	17.0	30.0
連結配当性向		43.4%	連結配当性向		42.5%

- **2019年度の第2四半期末配当金は、1株あたり配当を、13円とします。年間予定は変更なし**

自己株式取得状況

- ・ 2016年度は875千株の自己株式を取得し、結果、総還元性向は 54% となりました。
- ・ 2017年度は568千株の自己株式を取得し、結果、総還元性向は 54% となりました。

	2018年度 2019年3月31日	2019年度上期 2019年9月30日	増減
総資産	153,491	149,593	△ 3,898
純資産	66,960	66,974	14
自己資本比率	42.5%	43.7%	1.2%
1株当たり純資産	1,439円43銭	1,441円75銭	2円32銭
(参考) 自己資本	65,193	65,297	104
短期借入金	17,690	12,515	△ 5,175
長期借入金	17,540	21,943	4,403
有利子負債	35,230	34,458	△ 772
D/Eレシオ	0.54	0.53	△ 0.01

- 自己資本比率、有利子負債、D/Eレシオ等、財政状態に大きな変化なし



本日のご説明内容

- 1 2019年度 上期決算概要
- 2 2019年度 下期計画概要
- 3 2019年度 重点施策**

基本方針

「事業ポートフォリオの変革」と「収益体質強化に向けた戦略の実行」を進化させるとともに、環境リーディングカンパニーの位置づけを確固たるものへ

Make Innovations 60の変革を更に進化・強化し、企業価値の一層の向上を図る

- ・ M I 60 M & A 案件を活かした事業展開を図る
- ・ M I 60 開発案件の早期拡販を図る
- ・ 事業ポートフォリオの変革を更に進化させる
- ・ グループ経営基盤を強化し、環境を一層重視した取組みを実践する

1. 事業ポートフォリオの進化

3事業領域と2重点製品で成長を加速

- ☆自動車構造材分野
- ☆機能性食品容器分野
- ☆医療健康分野
- ☆ピオセラノ
- ☆テクポリマー

2. グループ経営基盤強化

- ☆組織力向上
- ☆生産性向上
- ☆人材力向上

新中期計画

Make Innovations Stage-II

3. 持続可能社会への貢献

- ☆既存製品の進化
- ☆新たな素材の実用化
- ☆社会に負荷をかけない事業活動

カルチャービジョン：積水化成製品グループ『全員経営』で人も会社も成長

● 自動車構造材

施策

1. 環境対応車採用拡大
2. グローバル採用拡大

*** 新たな機能と新たな素材**
ピオセラン、ST-LAYER
エラストイル、ST-Eleveat



● 機能性食品容器

施策

1. 耐熱食品容器の市場獲得
2. 付加価値製品の提供

*** 食文化を豊かにする**
機能性容器開発、
グローバルに新たな市場へ参入



● 医療健康

施策

- 医療 : 高度医療関連資材の提供
- 化粧品 : 顧客でのインスタシェアアップ
- 健康 : 高機能品をグローバルで拡大

*** 高付加価値製品展開**
独自技術での市場獲得・事業拡大



●ピオセラン

- 施策1. 当社シェアの拡大 ・ ・ 自動車関連、IT家電梱包の伸張と新規市場の獲得
2. 市場ニーズの具現化 ・ ・ 難燃処方、耐熱原料などの機能性付与

*** 軽量、高強度を武器に対象市場拡大 ⇒ 原料改質・開発、生産拠点整備など競争力強化**

家電・IT



自動車

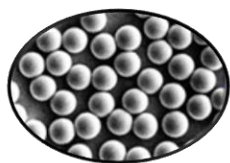


●テクポリマー

- 施策1. ディスプレイ分野シェア拡大
2. グローバル市場での拡大

*** 新製品上市で先行者利益を獲得 ⇒ 新規開発構成比率倍増を目指す**

塗料



化粧品



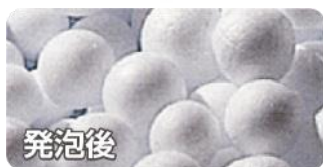
CSR重点課題

項目	ポイント	施策	具体的取り組み（方向性、例）	
E (環境)	1. 環境	<p>事業を通じて地球環境の保全・良化に貢献</p> <p>SKG-5 R (※) を基盤とした事業活動</p> <p>既存商品の進化</p> <p>新たな素材の実用化</p> <p>社会に負荷をかけない活動</p> <p>マネジメント</p>	<p>持続可能な製品・商品、サービスの提供</p> <p>軽量化・断熱性能向上製品の機能向上と応用製品の拡大</p> <p>生分解性、バイオマスプラスチックを活用した製品開発</p> <p>リサイクルの推進、生産・事務・管理活動の省エネルギー化</p> <p>環境マネジメントシステムの高度化、法規制対応</p>	
	ステークホルダーと連携した環境への貢献	<p>国際的な課題への対応</p> <p>生物多様性の保全</p>	<p>産・官・学連携した情報の整理と発信</p> <p>グリーンウェイブ、里山保全活動</p>	
S (社会)	2. 安全・安心・健康	<p>安全な事業活動と職場環境の提供</p> <p>安心な街づくり</p> <p>健康生活に貢献</p>	<p>ゼロ災害の達成</p> <p>防災・減災・グリーンエネルギー貢献</p> <p>健康増進</p>	<p>事故ゼロ、労働災害ゼロへの取り組み強化</p> <p>防災・減災・グリーンエネルギーに資する製品展開</p> <p>スポーツ関連製品、化粧品、医療用ゲルなどの展開</p>
	3. 品質	<p>最高品質製品・サービスの提供</p>	<p>製品特性の遵守</p> <p>お客様の声の反映</p>	<p>製品品質の維持向上</p> <p>お客様の声を経営に活かす取り組み</p>
	4. コミュニティ	<p>地域社会、従業員との共存・共栄</p>	<p>防災協定等</p> <p>地域ボランティア活動</p> <p>働き方改革、ダイバーシティ推進</p>	<p>地方公共団体などとの協同</p> <p>地域清掃、災害支援活動など</p> <p>フレックス、在宅・テレワークなどの推進、ダイバーシティ推進、人材育成</p>
G (ガバナンス)	5. ガバナンス	<p>安心して取引していただける会社に</p>	<p>グローバルなガバナンス体制強化</p> <p>CGCへの真摯な対応</p> <p>コンプライアンス、リスク管理の取り組み強化</p>	<p>グローバル管理体制の強化</p> <p>諮問委員会などの着実な運営</p> <p>管理体制、方法の高度化</p>

※ SKG-5 R : Reduce(省資源) Reuse(再使用) Recycle(再利用) Replace(置換え) Re-create(再創造)

人と環境を大切に 夢をふくらませる積水化成成品グループ

環境に優しい発泡技術



省エネルギー効果

断熱性



温度管理による
鮮度維持で

軽量性



部品軽量化による
燃費向上で

食品ロス削減 CO₂ 排出削減

高いリサイクル率



出典：発泡スチロール協会資料

循環型社会への貢献

持続可能社会への貢献

● 学生フォーミュラ日本大会2019

当社が応援している名古屋工業大学の皆さんが
2019年大会で優勝されました



2019年8月27日～31日（静岡県）
当社は、
ウイングおよびノーズパーツを成形
するための型を提供しています


● ホームページ刷新



● K2019に出展

2019年10月16日～23日（ドイツ）





ご静聴ありがとうございました

★内容に関するお問合せは…

I R広報部 (03) 3347-9711 までお願いいたします。

★当社のホームページもあわせてご覧ください。

アドレスは <https://www.sekisuiplastics.co.jp/>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。